

令和3年度

川口市立鳩ヶ谷小学校

福祉体験をブラウザマップに

マップ作り

車いす体験

ボッチャ体験

フィールドワーク

アイマスク体験

第4学年

特色

- 総合的な学習の時間「福祉教育」において、外部講師を招いてボッチャ・車いす・アイマスクの体験活動を行い、障害者スポーツや障害者の生活について体験的に学ぶ。その後、学区内を障害者の視点でフィールドワークし、街の工夫や改善点をブラウザマップに記録する。さらにSDGsを意識し、「誰にとっても住みやすい街づくりの提案」をテーマに調査・追記し、完成したマップをQRコードでアクセス可能にし、誰もが利用できるマップとして広めていく。

児童の感想

- ボッチャは障害者も健常者も誰もが一緒になって楽しめるようにルールが工夫されていることがわかりました。
- 障害者の視点以外にも子供や子育てをしている人の視点で街を見て地図にまとめることで、スロープや段差の意味がわかりました。

成果

- 体験活動から、障害者の立場で考えることの大切さに気づき、学校生活の中でも相手の気持ちを考えて行動する児童が増えた。
- 学習の成果をブラウザマップに仕上げることで次年度へつなげたり地域に貢献したりできる学習となり、自己効用感が養えた。